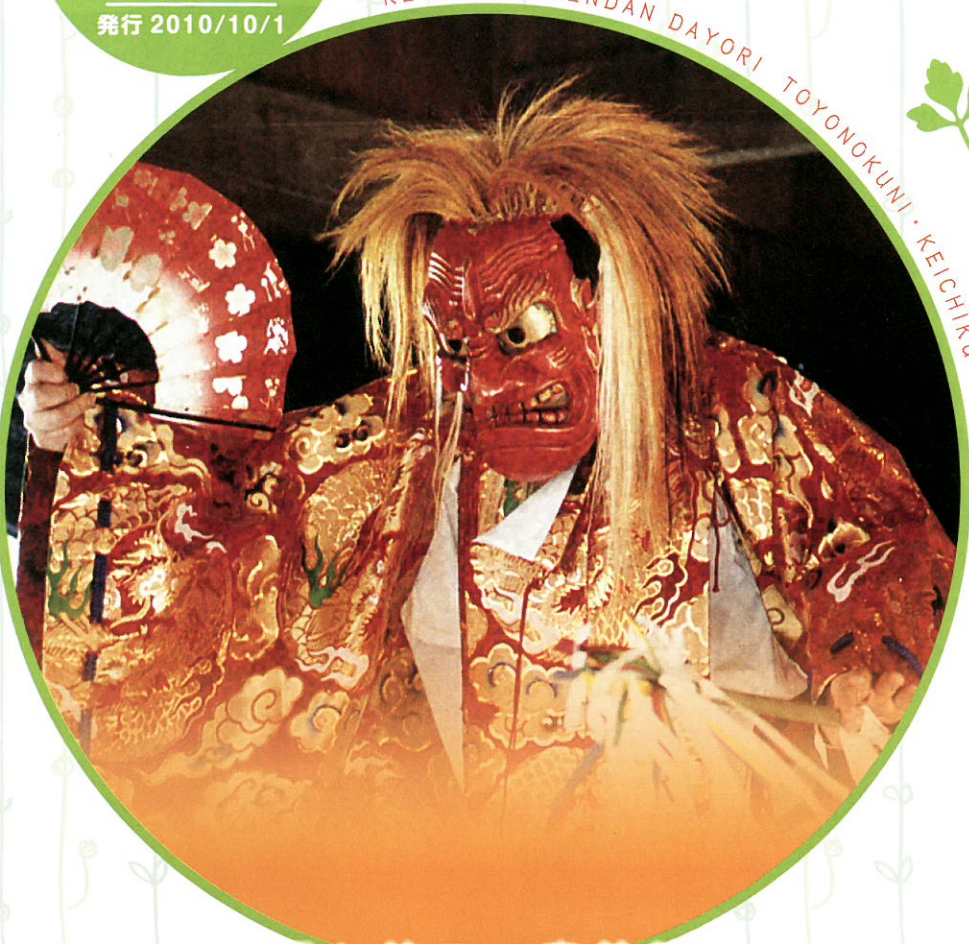




どこからともなく
聞こえてくる 神楽囃子
神楽の里 京築に
実りの季節が訪れました
鎮守の森は神々の降臨を迎え
神は人と一体となり
夜はふけてゆきます
この世に天地が創造され
神々が現れたところ
たくさんのお神話が生まれ
語られました
やがてそれは神楽となり
折りの文化となりました
古の時代からのメッセージが
今演じられるのです

京築応援団便り 豊のくに けいちく

京築まるごとナビ
<http://www.keichiku.info/>

きうみすよこれ！
秋のけいさく
神々が舞い集う季節！



そうだ、
みやこ町「よってこ四季犀館」
に、寄って行こう！

行橋方面から今川の流に沿って県道34号線を上流へと遡ると、やがて道沿いに立ち並ぶ白い幟旗が目に入ります。

木造の暖かみあふれるみやこ町農林産物直売所「よってこ四季犀館」は、今年でオープン5年目。地元産朝採り野菜や減農薬の美味しいお米、地域ご自慢の加工品が所狭しと並ぶ店内は、天井が高く開放的で、ゆっくりとしたお買い物を楽しめます。中でもユニークなのが、よってこ四季犀館オリジナル、地元産胡椒や辛子を使った「激辛三兄弟」シリーズ。柚子胡椒、ドレッシング、ポン酢と、商品のラインナップも豊富です。たとえば、粉末タイプの柚子こしょうの場合、辛さは、「そげねえ（方言で「たいしたことはない」の意）」、「こもねえ（とても）」、「とほーもねえ（とてつもない）」の三段階で、商品のネーミングは親しみやすい方言で表現しました。

そしてこの激辛シリーズ、今夏からは新たに「ラー油」がお目見えします。昨今ブームの「食べる」ラー油ではありませんが、このラー油もお好みに応じて三段階の辛さがお楽しみいただけます。

商品は辛くないほうから順に、緑、黄、赤の容器に入っていますので、辛さが苦手な方はどうぞお間違えなく。よってこ四季犀館のホームページから、お取り寄せも可能です。



よってこ四季犀館では、地元で獲れた「猪肉」、「鹿肉」の販売も始めました。お客様が扱いやすいよう、肉をスライスしていますので、手軽にお料理に使えます。300g入りで600～900円。年間を通じて販売しています。



このコーナーでは
京築地域での
直売所や道の駅
情報をお届けします。



【問い合わせ】
よってこ四季犀館
■場所
〒824-0215
福岡県京都郡みやこ町犀川生立54番1
■営業時間
8時～18時
(ただし1月1日～4日は休み)
■連絡先
TEL0930-42-3339
FAX0930-42-3337
■ホームページURL
<http://www.shikisaikan.com/>



No.001

豊前本ガニ

福岡県北東部の豊前海で獲れるワタリガニのうち、しっかりと身の詰まったもののだけが、特別に「豊前本ガニ」の名で呼ばれています。

ふっくら程よい身入りと甘くて濃厚な味わいは、この季節ならではのもの。ミソも内マコもたっぷり、茹でてよし、汁物にしてよし、新米に炊き込んでよし、と京築が自信を持ってお勧めする味覚の王様です。

下記の漁協では10月下旬から直売を開始予定。豊築漁協については、宅配も承ります。旬の逸品を、ぜひ皆さんもご賞味ください。

【問い合わせ先】

- 刈田町漁業協同組合
京都郡刈田町幸町 21 番地 TEL.093-436-3121
- 蓑島漁業協同組合
行橋市大字蓑島 470-13 TEL.0930-23-1040
- 豊築漁業協同組合
豊前市宇島 76-31 TEL.0979-83-2228



●2個入り336円(税込み)

銘菓「かぐら」販売中！
豊前市の「ケーキハウス四季」では、神楽をモチーフにしたお菓子が人気です！その名も「九州がぜんわたしのふるさと銘菓「神楽」」。
神楽は五穀豊穡を祈願して奉納されることから、米粉をふんだんに使ったとろけるような生地とほんのり甘みの粒あんが、お口の中を幸せにしてくれます。米粉は地元の生産者である田村裕司さん（NPO法人故郷創環未来研究所）が栽培した「夢つくし」を右白で引いたものです。



ケーキハウス四季
場所：豊前市岸井 188-1
TEL：0979-84-0304

豊前市に多目的文化交流センター オープン！

(京築神楽伝統文化会館)

京築地域には古くからの伝統芸能として、祇園や神楽が伝承されています。そうした伝統芸能を見学し理解する施設として、平成22年10月31日に多目的文化交流センター(京築神楽伝統文化会館)が開館します。

センターは二階建てで旧築上北高校体育館をリニューアルして整備されました。一階では神楽に関する資料の展示コーナー(入場無料)や小ホー

ルでの神楽公演などを見ることができます。二階大ホールでは神楽フェスティバルなど大規模なイベント会場として利用することができます。

10月31日には「京築 神楽と食の祭典」、11月7日にはふくおか県民文化祭2010「天岩戸伝説」が上演されます。(詳しくは次頁をご覧ください)皆様のご来場をお待ちしています。



『京築応援団』 団員募集中！

京築を応援するファンクラブに入いませんか？

お申し込みは京築地域情報発信サイト

「京築まるごとナビ」から
<http://www.keichiku.info/>

KEICHIKU

福岡県・京築地域
行橋市・豊前市・苅田町・みやこ町
吉富町・上毛町・築上町



知っちゃう? 「京築神楽学」

京築神楽イメージキャラクター「みさきくん」



京築には、**神楽を舞う団体が31**もあります。奉納は春、秋を中心に行われ、その年の豊作や家内安全、無病息災を神様に感謝しお祈りします。

京築神楽の代表的な演目は「^{みさき}駈仙(御先)」で、出雲神話の^{てんそんこうりん}天孫降臨の様子を演じています。この他にも厳かな舞から、愉快なもの、現代的な感覚を取り入れたものまで、子どもから大人まで楽しめる民俗芸能です。

京築神楽の奉納場所は、神社の境内がほとんどです。場所がわかりにくいので、見学の際は、市や町の教育委員会などにお問い合わせください。10月～11月がピークです!

京築では、子どもたちの神楽の活動が盛んです。最近では園児の参加も見られ、“チビっ子神楽”とも呼ばれ人気です。こうした活動が後継者育成につながり、今では20代・30代の若手の神楽の舞手が増えてきたようです。

ふくおか県民文化祭2010 「天岩戸伝説」

日時:11月7日
開場13:00 開演14:00

豊前神楽の定番「岩戸神楽」を題材に、ジャズと和太鼓を交えた創作神楽ステージをご覧ください。演じるのは豊前神楽集団「若楽」と地元のビッグバンド「ニュースウィングジャズオーケストラ」、そして和太鼓集団「豊前天狗太鼓」です。

問い合わせ: 豊前市役所総合政策課
TEL. 0979-82-1111(内線1343)

いずれも会場は、豊前市の京築神楽伝統文化会館です。

【京築 神楽と食の祭典】

日時:10月31日(日)
9:30～17:00

京築地域に伝わる神楽と地元産の農林水産物、加工品、料理を一度に楽しめるイベントです。

※JR宇島駅より無料バスを運行
問い合わせ
京築連帯アメニティ都市圏推進
会議事務局(広域地域振興課内)
TEL. 092-643-3178



「豊かさの源!ひと!」

シリーズ

京築けいちくは、海の幸・山の幸の恵みと修験道や神楽などの文化が受け継がれた「豊かなく」。このコーナーでは「豊かさの源」を支えている「ひと」たちを毎回ご紹介していきます。



1
人目



けいちくの元気ささえます
道の駅「豊前おこしかけ」
駅長 白石道雄さん



京築地域を訪れる魅力といえば、豊かな食材満載の「道の駅」や直売所。そんな魅力の火付け役が「豊前おこしかけ」駅長、白石道雄さんです。今年で開業十年目となる「豊前おこしかけ」は、全国的にブームの「道の駅」の発祥の地です。数々の企画を紡ぎだす白石駅長の豊かさの源は、広い視野と経営の見事さ!地元から関西の大学へ進学後、名古屋と東京で銀行員を勤めて帰郷。ガソリンスタンドを拡大経営しながら、青年会議所のメンバーとして地域活動を始めました。

椎田バイパスの整備に伴って豊前市が通過都市になってしまったことを危惧した当時の青年会議所のメン

けいちく秋みつけ

二〇一〇年・秋
このコーナーでは京築地域のイベント情報をお届けします

ウォーク

文化
アート

祭り

産業
祭



松尾山修験道回峰トレッキング

【上毛町】1泊2日
11月6日(土)～11月7日(日)
上毛町内に残る行場をめぐり、約35kの完歩を目指します。完歩した後の夕食では山伏料理を味わってもらいます。募集人数 50名
申込締切 9月30日
参加費 3,000円

【お問い合わせ】
上毛町役場大平支所
0979-72-2111

大楠コンサート

【築上町】
10月2日(土) 18:00～
ライトアップした樹齢1900年の大楠を背景に福岡室内合奏団による野外クラシックコンサートが行われます。

【お問い合わせ】
築上町企画振興課
0930-56-0300(内線363)

苅田山笠

【苅田町役場前広場】
10月3日(日) 雨天順延。
灯山、幟山、岩山と3度姿を変える県無形民俗文化財です。「けんか山笠」ともよばれています。

【お問い合わせ】
苅田町教育委員会
093-434-1982

みやこ町産業祭

【みやこ町犀川支所広場】
11月20(土)・21日(日)
農林業と地元の特産品の販売もあるふれあい祭りです。

【お問い合わせ】
みやこ町企画調整課商工観光係
0930-32-2511

JR九州ウォーキング

【上毛・吉富町】10月10日(日)
(8:30出発～15:00到着予定)
JR吉富駅を出発し、吉富・上毛間の約11kmを歩きながら史跡を巡るイベントです。
(参加費無料・事前申込み不要)

【お問い合わせ】
吉富町役場企画財政課 0979-24-4071
上毛町役場企画情報課 0979-72-3111

等覚寺森のコンサート

【苅田町】
11月13日(土) 昼頃予定
等覚寺白山多賀神社の森で、和みの音楽を楽しむ気軽な音楽会。地元のみなさんによる等覚寺そばも味わえます。

【お問い合わせ】
四季の音楽会実行委員会
093-434-1982
(平日9:00～17:00)

壺神社の献水神事と水占い

【吉富町 土屋地区 壺神社】
10月14日(木)
氏子が川から汲み取った水を献水し、水量によって五穀成就を占う神事。土屋神楽の奉納もあります。

【お問い合わせ】
吉富町教育委員会
0979-22-1944

豊前市カラス天狗祭り

【豊前市天地山公園】
10月24日(日) 10:00～20:00
カラス天狗バルーンや天狗太鼓のイベントや、農産物魚介類のうまいもん市を開催します。

【お問い合わせ】
豊前市まちづくり課観光係
0979-82-1111(内線1174)

もみじウォーキング

【築上町】
11月13日(土)
24k(往復)、18k、9k、4kコースでゴールは牧の原キャンプ場です。もみじ祭りも同時開催されます。

【お問い合わせ】
築上町観光協会
0930-52-0001(内線182)

おらが町にきてみてギャラリー

【みやこ町犀川地区】
10月23日(土)・24日(日)
地図と黄色い旗をたよりに、ギャラリーのお家を訪ねます。アートと風景と人に癒されて下さい。

【お問い合わせ】
みやこ町企画調整課
0930-32-2511

生誕200年記念村上佛山展

【行橋市歴史資料館】
9月17日(金)～11月5日(金)
行橋市稗田にあった幕末の私塾「水哉園」で、末松謙澄ら明治の偉人を育てた教育者、村上佛山の生誕200年を記念し業績を紹介した企画展です。

【お問い合わせ】
行橋市歴史資料館 0930-25-3133
(休館日は火曜)

上毛祭

【上毛町】
10月10日(日)
松尾山お田植え祭や子ども神楽などが開催されます。

【お問い合わせ】
上毛町役場企画情報課
0979-72-3111

バーたちや商工会議所役員などと「ぶぜん街づくり会社」を設立し、先進地の視察を行いながら、駅長をひきつけることになった白石さんは、家業を清算し試行錯誤の「道の駅」づくりに飛び込みます。道の駅に品物を卸してくれる漁師さんや農家の人たちと交流する中で、地域の食材の豊かさを「道の駅弁」として表現し売り出したところ大ヒット! 豊前市の山奥、轟地区の棚田で作られるお米の味にほれ込んだ白石さんは、豊前市の水がめとなっている棚田を保全し耕作する農家を支援するための棚田米のサポーター(会員)を募り、会員向けに毎月書き続けた「豊前通信」は、なんと百二十号に達しています。棚田の脇に植えた柚子を地元で加工した「柚子ペースト」は、バイヤーをうならせ、外国から注文を頂くまでの商品に成長してゆきました。

その昔、神功皇后が腰かけた石に由来する「豊前おこしかけ」。

十一月二十八日(日)には「第十二回九州・沖縄・道の駅弁うまいものフェア」が開催されます。ぜひおこしください。

(レポーター 原賀いずみ)